

令和3年3月5日（金）

令和2年度 修了式 挨拶

- 9年生の皆さん、受検、お疲れさまでした。いい勝負ができましたか。うまくいったところも、いかなかったこともあるでしょう。
- みんな同じですので、今は小さいことを気にしても一緒です。落ち着いて、心を整えつつ、合格発表日を待ってください。皆さんの誠実でひたむきな姿勢はきっといい結果につながると信じています。
- さて、先程、代表して糸山さんに第9学年の修了証書を渡しました。今年一年、本当に大変だったと思います。最終学年として大いに活躍すべきところ、感染症対策ということで、休校になったり、部活動が自粛、大会が中止になったり、学校行事も規模縮小、、、色々なところで我慢を強いてきました。本当に申し訳ありませんでした。
- そんな中、不満やイライラもたくさんあったと思います。しかし君たちはよくそれらを受け止めて、そのうえで最高のパフォーマンスをしてくれたと思います。
- この学年は本当にすばらしい学年でした。
- 僕も無理をお願いして皆さん一人ひとりと面談をさせてもらいました。それにいくつかの機会に皆さんの前で話をさせてもらいましたが、とっても話しやすい皆さんでした。顔を向けて目を合わせて聴いてくれてありがたく思っています。
- そこで最近、色々な先生たちと話をすることで、9年生がこんなにいい学年になった秘訣はどこにあるのかと尋ねています。
- そういう中で分かったのですが、君たち一人ひとり、本当に皆んな、「誠実」で、「人の言うことをきちんと正面から受け止め」、「友だち同士を認め合っていた」ということです。
- これは「非認知スキル」と言います。
- 「認知スキル」は一般的に言うと、学力（IQ）といった頭の良さを指します。一方で「非認知スキル」とは、「やる気」や「忍耐力」、「協調性」などの内面的な力のことです。これはIQよりも将来への影響力が大きいと言われています。なぜなら、非認知スキルは学力を支えているものだからです。
- ですから、君たちはこれから高校へ進学して、もっともっと学力を伸ばすことができます。その伸びしろがとても大きいということです。
- 今年一年間の経験はきっとみなさんをもっともっと成長させてくれると思います。一年間本当にお疲れ様。月曜日は最高の卒業式にしましょう。